

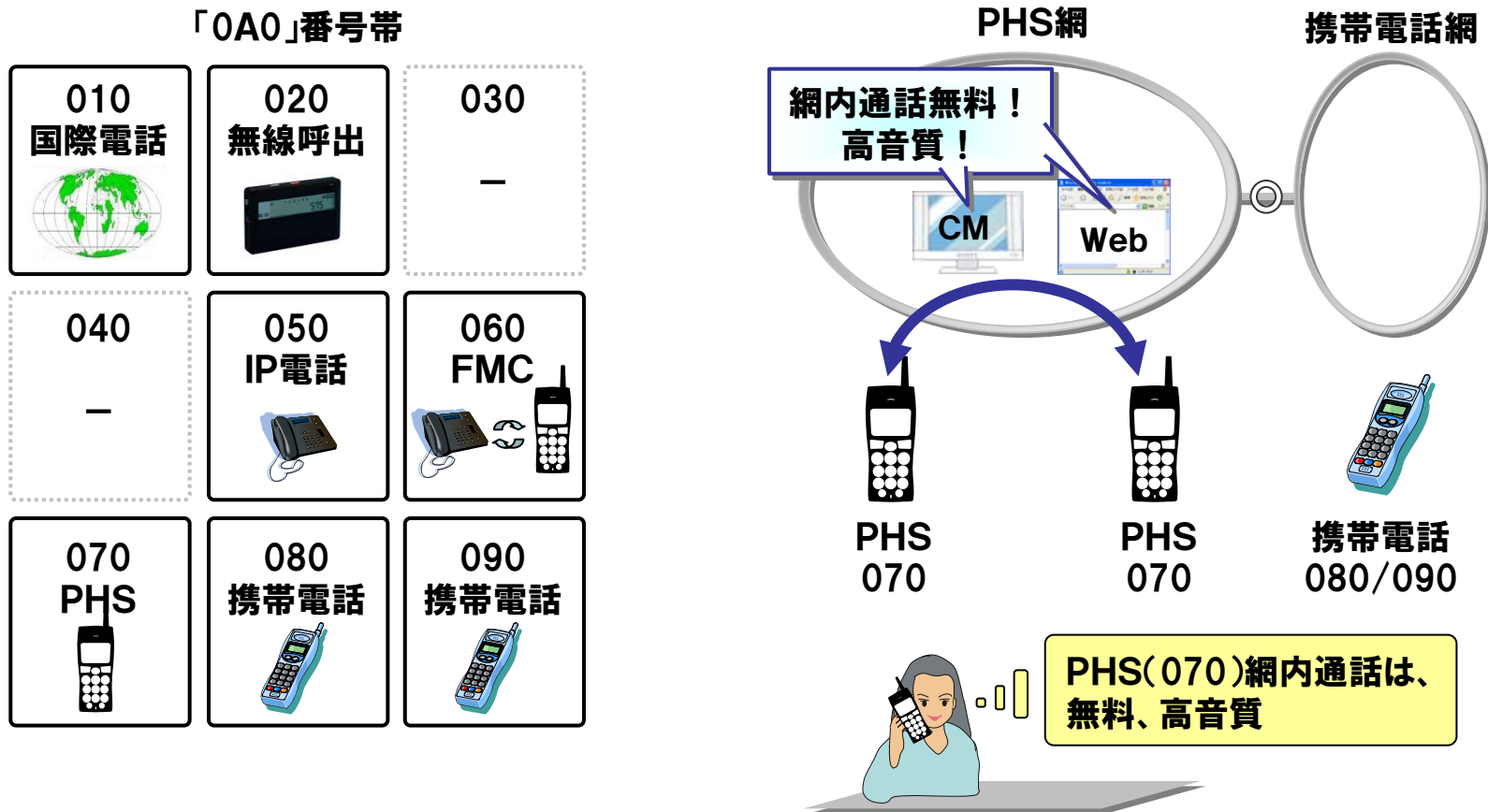
「携帯電話の電話番号数の拡大に向けた電気通信番号に関わる制度等のあり方」に関する意見提示

2011年7月11日

東日本電信電話株式会社

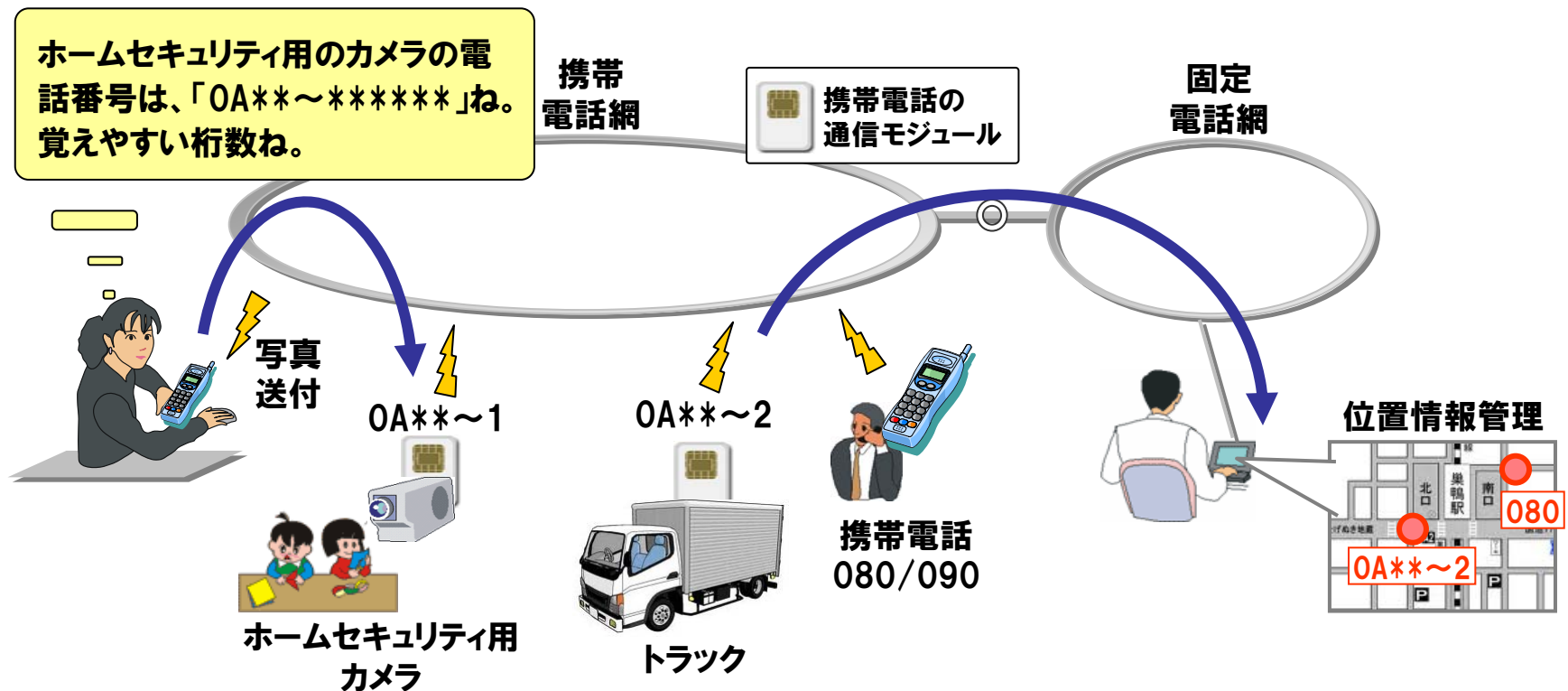
1-1. 電話番号の識別性に関する認識

電話番号は、従来より利用者が「0A0」、「0ABJ」等の番号帯を見てサービス種別や料金、品質を識別できるように運用されています。例えば、「070」番号帯はPHSと認識されており、「PHS(070)網内通話は無料」、「PHS(070)網内通話は高音質」という認識があると考えられます。今後も電話番号によるサービス種別や料金、品質の識別性を維持することが適当と考えます。



携帯電話の通信モジュールを搭載した機器間の通信(M2M)サービスは、電子書籍等を始め、幅広い分野で利用が拡大すると想定されます。

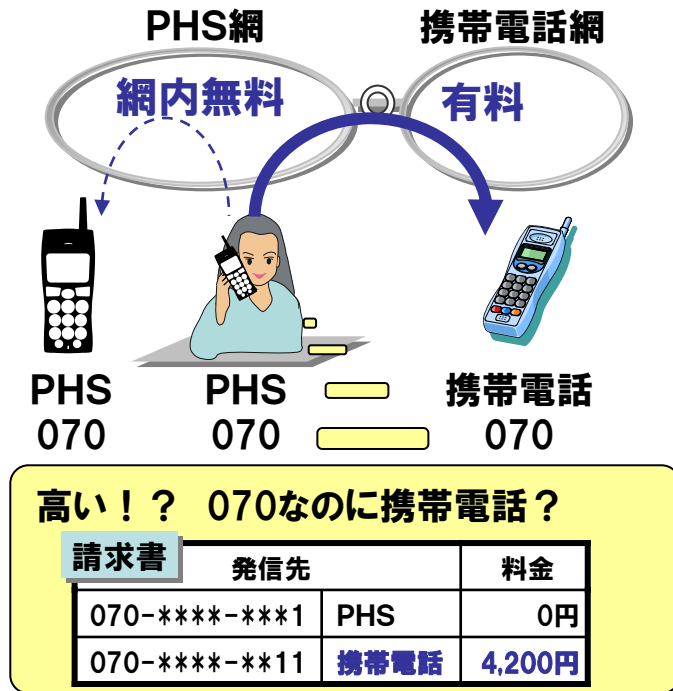
今後、仮にM2Mにて電話番号を利用する場合、例えば、「利用者が携帯電話からホームセキュリティ用カメラへ電話番号で接続し、子供の様子を確認する」といった利用も想定されるため、利用者が取り扱いやすい桁数であることが必要と考えます。



「070」番号帯や「0AB～J」番号帯の一部(「0A1」:091等)を携帯電話に利用した場合、

- ① PHSから070番号を利用する携帯電話へ発信する際、「PHS(070)網内通話は無料」と認識し、長時間通話を行い、後日想定外の請求を受ける等、利用者利益を損なう場合があります。
- ② 携帯電話(091-****-****)からの発信であっても、地理識別(福岡方面)が可能な固定電話と認識される場合があります。

また、将来閉番号(市外局番0A化)を行った際に、天気予報用に「0A177」番号を利用できなくなります。



0A1番号帯の使用状況

011	札幌市外局番
021	未使用
031	天気予報(03-177)
041	天気予報(04-177)※
051	未使用
061	天気予報(06-177)
071	未使用
081	未使用
091	未使用

※誤呼トーカーとして使用中

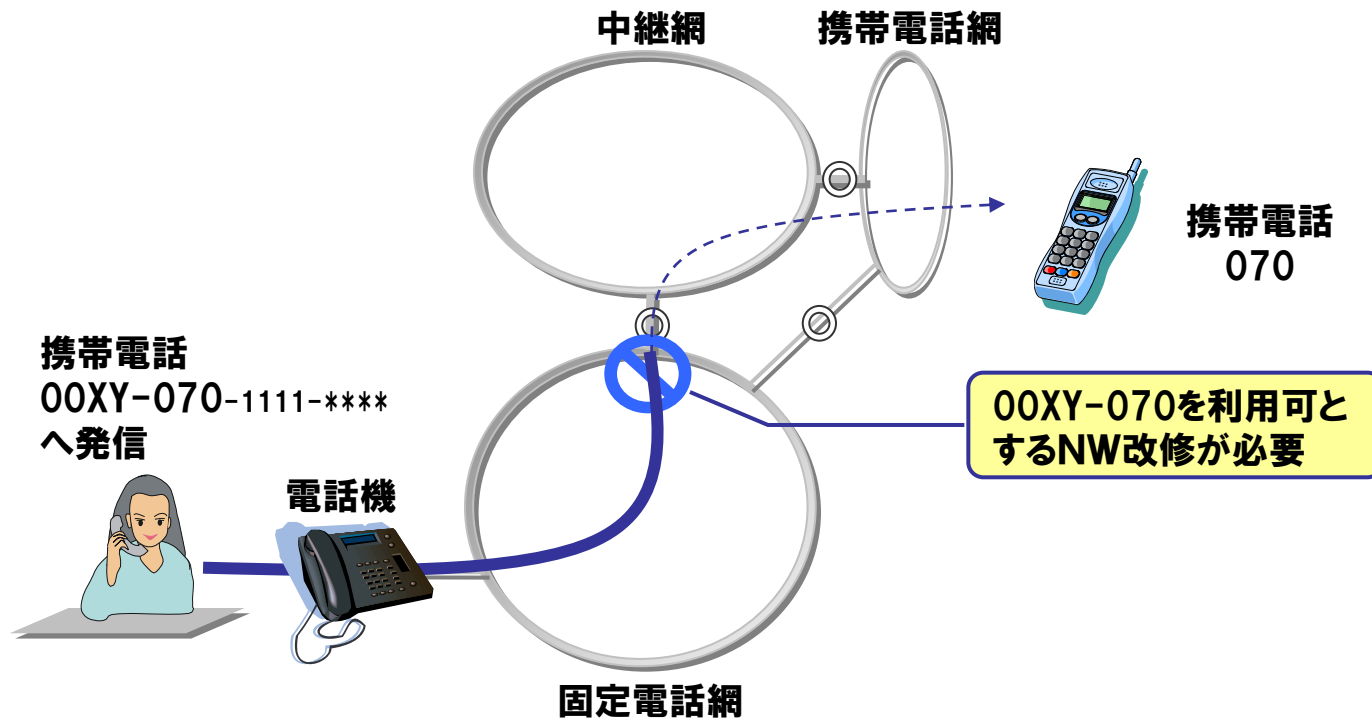
今後も電話番号によるサービス種別や料金、品質の識別性を維持することが適当であるとの考えに基づき、ひっ迫対応はかつて移動体の電話番号として利用されていた「030」、「040」番号帯の利用を優先的に検討すべきと考えます。

ただし、M2Mサービスへの電話番号割り当てに関する考え方の整理や割り当てる場合の需要を踏まえた検討が必要になると想定されるため、当面は、NWへの影響が軽微である「090」番号帯の未利用番号帯「090-0」の追加利用が有効と考えます。



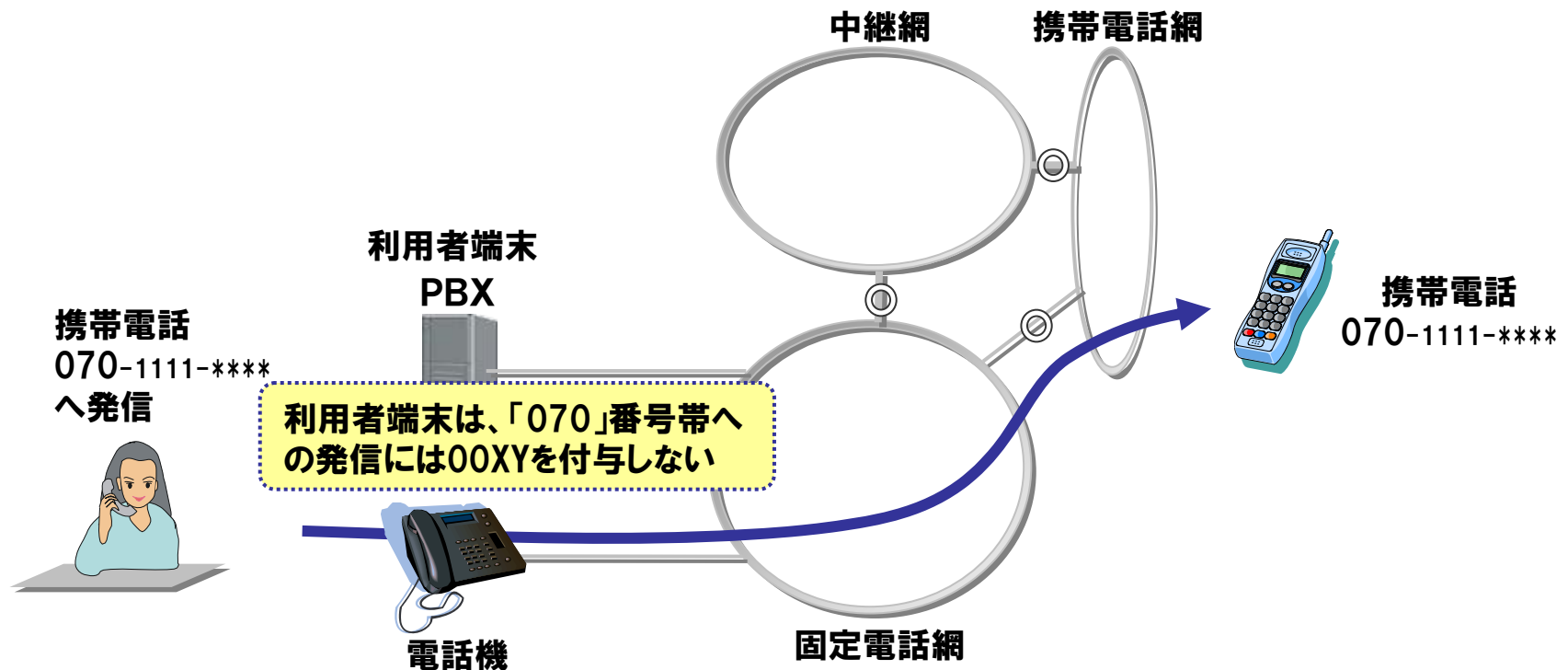
当社NWでは、選択中継(00XY-0A0)、着信課金や電報受付等の付加サービスにおいて、サービス種別(携帯電話/PHS)を識別し、付加サービスの利用可否等の制御を行っています。

例えば、選択中継は固定電話から携帯電話(080/090)への発信にのみ利用可能となっており、070番号帯利用の携帯電話への発信には利用できません。



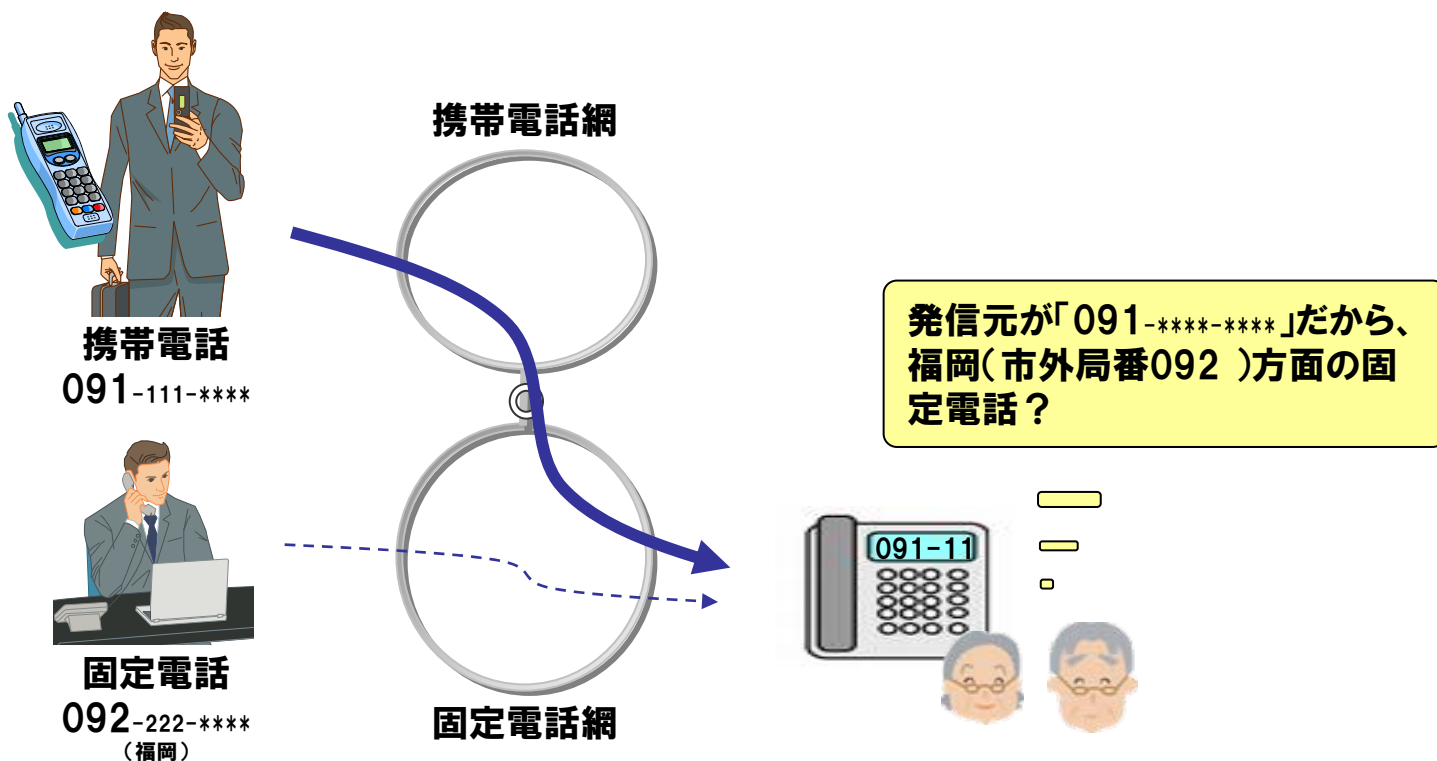
固定電話機やPBX等の利用者端末の多くは、携帯電話(080/090)への発信時に、選択中継(00XY)を自動的に利用する機能を具備していますが、070番号を利用する携帯電話への発信時には、当該機能ははたらきません。

070番号を利用する携帯電話への発信時にも選択中継を利用する場合には、利用者端末の設定変更や改修が必要となる場合があります。



「0A1」番号帯は、固定電話番号として利用されています。

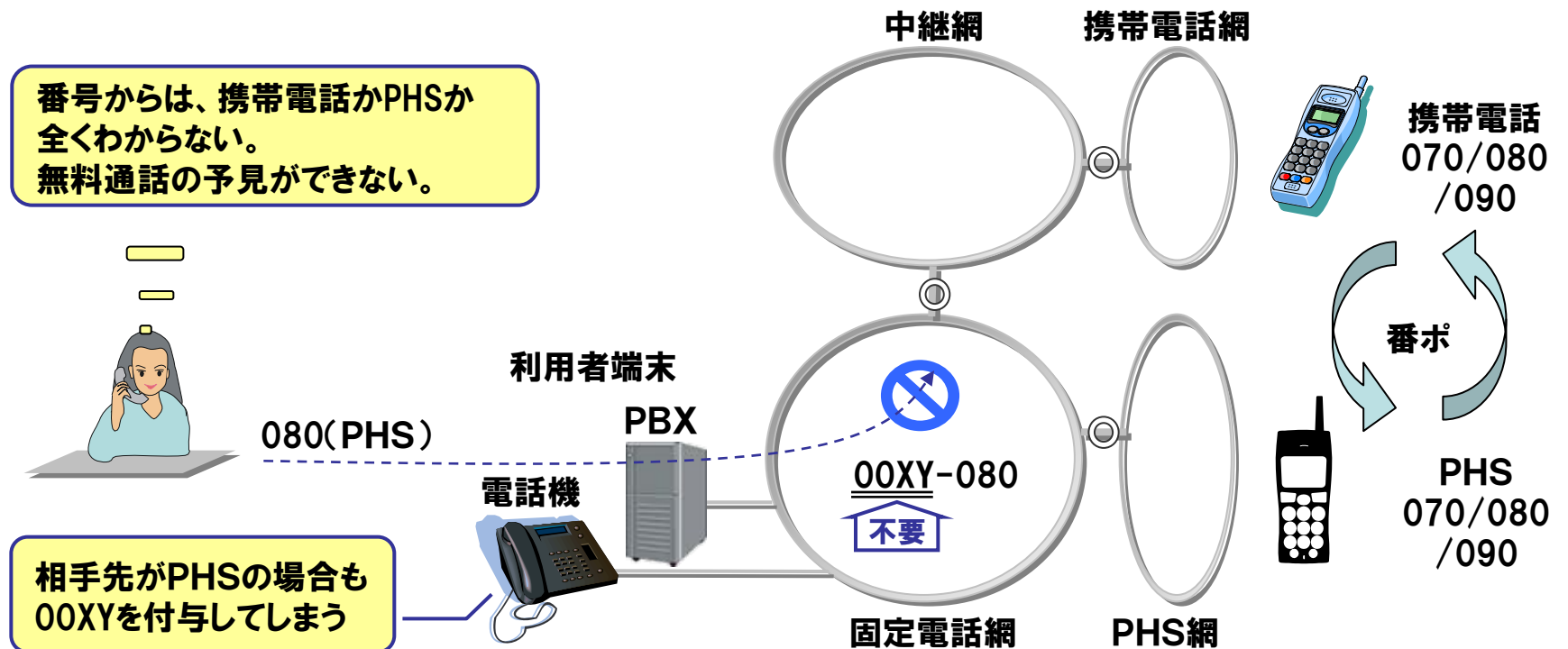
「0A1」番号帯を携帯電話でも利用する場合、携帯電話(091-****-****)からの発信であっても、**地理識別(福岡方面)**が可能な固定電話と認識される場合があります。



3. 携帯電話とPHSとの番号ポータビリティの影響

「070」番号帯を携帯電話でも利用し、更に携帯電話とPHS間の番号ポータビリティが導入された場合は、電話番号(070/080/090)からはサービス種別(携帯電話/PHS)や料金、品質を全く識別できなくなります。

また、固定電話機、PBX等の利用者端末が具備する00XY付与機能は、正常に機能しなくなるため、広く普及した利用者端末にて、設定変更や改修が必要となる場合があります。



※当社NWでは、電話番号以外でサービス種別を識別して付加サービス等を制御できるよう、大規模な改修が必要となります